

モーモーふれあい体験会～2023～を開催しました

宮崎県畜産協会は、「消費者の畜産への知識や関心を深め、県産食肉の消費拡大」を目的に、12月2日(土)、肉用牛に関する食育体験会を宮崎県立高鍋農業高校で開催しました。

一般公募した小学生とその保護者を対象に、畜産業の将来を担う農業高校生と、地域で活躍する女性畜産農家が先生となり、以下のとおり肉用牛の体験交流会を行いました。



1 限目 牛さんのはなし ～学ぶ～



牛の種類、一生、歯と舌、4つの胃、うんち、和牛オリンピック(全共)などについて、3人の女性畜産農家が体験などを交えながら分かりやすく説明しました。また、高校生からは忘れてはならない口蹄疫と防疫対策について説明し、子どもだけでなく保護者も熱心に話を聞いていました。

2 限目 ふれあい体験 ～感じる～



高校生から詳しい説明を受けながら、「牛の絵を書く」、「ふれる」、「ブラッシングをする」、「心音を聞く」、「エサをあげる」という体験をしました。小学生は1時間目に教わった歯の観察をするなど、大変意欲的に取り組み、保護者も高校生や女性畜産農家に質問する姿が多く見られました。

3 限目 いただきます ～感謝する～



体験の締めくくりとして、高校生達が丹精込めて肥育し、高校3年生が手作りした高農牛ハンバーグのお弁当を、命に感謝しながら美味しくいただきました。



地方競馬の収益金は、畜産振興及び地方財政の改善に活用されています。